

第6回 習志野市次期基本構想・基本計画策定市民会議 会議概要

日 時：平成24年11月10日（土曜） 10時00分から13時00分まで

場 所：習志野市 仮庁舎3階大会議室

議 事 録：

議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p>【議題】</p> <p>開 会 ワークショップ ・テーマ「男女共同参画・交流・平和事業・その他」 閉 会</p> <p>【会議の概要】</p> <p>《ワークショップ》 [男女共同参画・交流・平和事業・その他] (1) ワークショップ結果 別紙の通り。</p>
--	---

習志野市次期基本構想基本計画策定市民会議
第5回ワークショップ テーマ：『男女共同参画・交流・平和事業・その他』

日時：11月10日（土）10：00～13：00

場所：習志野市役所 仮庁舎 3階大会議室

出席者：五十嵐理恵子委員・井上昇二委員・小原松枝委員・工藤光明委員・斉藤大貴委員
櫻井ますみ委員・佐藤淳委員・佐野正孝委員・澤根正好委員・平川嘉伸委員
苗村教子委員・松野さやか委員

欠席者：高島満子委員・金子美代子委員・安武みな子委員・菊地大委員・近藤鈴奈委員
江口幸恵委員

A班報告

【男女共同参画の実現】

A班の中でも、やはり年齢の階層が大きいものですから、男性の育児休暇などとんでもないというご意見もありました。ただ、この20年・30年の中で、女性の社会的地位は確実に上がっているでしょうし、昔のような女性差別もなく、優秀な女性が大変増えているというお話がありました。

同時に、制度的に男女共同参画を進めていくよりも市民一人ひとりの意識が、自然に醸成されていく方が良いではないかというお話がありました。やはり、例えば学校から帰ると、家に母親がいるような時代があったことが羨ましいと言うのは、男女共同参画からすると逆行しているかもしれませんが、そういう感覚があります。

もう一つは、父親＝働く男性が定年を迎えた時に、地域で孤立したというお話がありますが、父親も育児に参加する等、定年後に離婚しないように若いうちから市のイベント等に夫婦で参加したり、市や地域社会では夫婦が共に参加できるようなレクリエーションに取り組む、あと学校行事に家族揃って参加できるような取り組みが市や地域社会等で設定して行くことが必要ではないかと思いました。

ここは事業者等が努力するところも必要なのですが、家族がやはり一番小さな基本となるコミュニティということで、家族を大事にしていこうということが根底にありました。

【交流の推進】

交流については、昔ドイツの捕虜収容所があったという話もあり、どうしても関係があるためビールとかソーセージという、グルメ路線から地域振興をしていくというのがありました。

また、ストリートミュージシャンや習志野高校の吹奏楽部のような音楽の街をアピール

していく、ただアピールは現在でもしているのですが、もっとどういったことが出来るのかというのが課題です。習志野市の音楽の街というVIP感を増していくような取り組みをしていきたいという話がありました。

最後に、新庁舎を独創的にして、地域にはユニークな庁舎もありますので、目玉になるようなものを作り、その中で習志野市のグルメを提供することが出来たら良いところです。先立って、津田沼が千葉県の中で住んでみたい街で千葉県の中で第4位になったとのこと、習志野でなく津田沼ということが悲しいというところがありました。

【平和啓発事業の促進】

一つ一つ言いますと、最近の子どもには世界観がない、知識としては平和について大事だとは思ってはいますが、深いところまではいかない所があります。

それは、学校でも地域社会でも家族の中でも、平和の大切さをちゃんと教えていないのかという問題点も挙げられましたが、これからは性根を入れて平和について教えるといったところです。

平和というものが、昔と違いその観念が複雑化していますので大変難しいとは思いますが、やはり蓋をしないで大人が意味を持って平和の大切さを訴えていく、具体的には世界平和の標榜を募集する、修学旅行で広島に行くといった取り組みはありますけれども、基本は教育が大事というところです。

B班報告

【男女共同参画の実現】

まず課題は、地域協働に男性が参加しないということがあり、また働きたい女性の子育て支援、近場の保育所が必要であるということがあります。市としては地域での交流を活性化し、市民としては近隣住民と普段からお付き合いしていくことが必要という意見がありました。

近場の保育所等に関しては、幼稚園と保育所が一体化されている子ども園に集約されることになり、それはそれでメリットはあると思いますが、場所が遠くなり不便になることも出てくるので避けてほしいと思います。それから子育てを行政の参加で責任を持ってほしい。市民としては積極的に子育て支援を要求していくことになりました。

また、世帯主の名前で会合等に登録していますが、実際に出席するのは女性であるということが結構あります。小学校等で保護者の名前を書く時に、たいてい父親の名前を書きますが、実際サインするのは誰かということと母親ということが多いといった慣習のようなものがあります。行政等の書式でサインをする人の欄は、市としては実際にサインをする人が分かるようにしていけばよろしいかと思います。

そのほか、連絡網でも同様にしても良いのではないかと思います。私自身の経験からすると、子どもの予防接種の保護者の欄には、たいていは皆父親の名前を書きますが、実際それをやるのは母親です。責任を持って子どもを見ているのも本当は母親なのに、名前は父親というところがあります。ある病院で「これは母親の名前を書きましょう」と言われた事がありましたので、市民として、そういったところからの意識改革が男女とも必要ではないかと感じました。

【交流の推進】

交流については、災害時の行政間の連携等はどうなっているのか、3.11の時はどうだったのかということ等、いくつかのパターンの交流について考えてみました。

災害に関しては、何か災害があった時に、遠隔地…例えば北海道や九州などの地域と普段から交流を持ち、非常時にお互いに協力し合うシステムが習志野市にはあったのかどうか、海外の姉妹都市ということではなく、遠隔地行政との協定を作り交流にも災害時にも活かしていけば良いのではないかと思います。

そして、市民としては災害時のボランティアに登録した相手側の市の方に、実際何かあった時にボランティア活動が出来るという方の訪問所、何かあった時に参加するというシステムがあっても良いと思います。

次に、イベント等に外国人の参加が少ないとのことですが、やはり外国の方も多く住んでいらっしゃるので、そういう方も交流していくことは大切だと思いますので、市の方では外国の方に向けての宣伝も、日本語だけでなく色々な形にして頂きたい、市民としては

地域での交流の場をきちんと作っていく、外国の方も参加しやすい場を作っておくことが必要だと思います。

また、別の交流のパターンですが、市内の学校同士の交流を活発化するのも良いのではないかと、この中で、「幼稚園・小学校」、「小学校・中学校」という形の交流はありますが、小学校同士や幼稚園同士の横での繋がりがあまり見えません。

先日、小学校の授業の内容を市内の他学校の先生方が見に来るということがありましたが、他の学校でどんな授業をやっているのか、どんな活動をしているのか、子ども同士がお互いに見る機会が全くないので、そういう交流をして頂くことも、子ども同士も楽しいですし、他の学校がどんな地域にあってどんな活動をしているのか分かるのも楽しいかと思えます。

そのほか、セカンドスクールに行くのにいくつかの学校が一緒に行けて交流できるのも良いかもしれませんが、スポーツ交流等はおそらくサッカーやバスケットボールくらいはあると思いますが、それ以外も含めて行うこともよいのではないのでしょうか。

文化はやはり音楽という形になってしまうかもしれませんが、そういう交流があっても良いので、市の方で企画して頂きたいと思えます。市民にとっても生徒間で交流をしていくという形です。イベントが一過性で交流が深まらないことがあるので、市としてはお客様でなく実際参加することで交流が深まっていくようなイベントを企画して頂き、市民としては、主催者が楽しむだけでなく、本当に参加者全員が参加できるイベントを作り上げ、市民は積極的に参加していくことが必要という意見です。

【平和啓発事業の促進】

習志野市には、どこかで核実験がある度に市長名で毎回抗議文を出しているというお話を聞きましたが、それを我々市民が全く知りませんでした。

そういうことで、市が具体的に取組んでいることが見えていませんので、市としてはどんなことをしているのかまず広報して頂きたいと思えます。それで、広報して頂いたものを市民としては積極的に情報収集をしていく必要があるといったところです。それから、平和というもので、戦争等に対する平和だけでなく、日常の平和についても話し合いました。治安についての話になってしまいますが、習志野市の警察と市民との間で距離感があります。

習志野警察署が移転したのですが、市民の傍にある警察署という感じではなく、また交番も移動しましたが非常に分かりにくい場所で、何かあった時に街の中にあると言いますか、市民の中に入れてくれる交番に感じられなかったりしますので、市と連携して本当に市民を見守ってもらえるようにして頂きたいという意見が出ました。市民は輪の拡大をしていくことが大切です。

【その他】

その他としては、市と市民の情報共有ということで、今まで何回かこのワークショップに参加していて、色々言いたい放題言っていくと、実は習志野市がきちんとやって下さっていて、我々が知らないだけだったということが山ほどありました。市の方は効果のある分かりやすい広報・PR をして頂きたいと嬉しいと思います。そして、自分自身の課題でもありますが、市民としてきちんと情報を得ていくことが必要だと感じました。

■その他（男女共同参画・交流・平和啓発事業） A班

項目	課題	市が取り組むこと	市民が取り組むこと
男女共同参画社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の社会的地位は上がっているか。 ・昔ながらが良い。 ・女性のチャレンジを応援する社会 ・男性の育休なんてとんでもないという世代も。 ・イクメンで休めない。40歳以上は…。 ・子どもを連れて外出できる環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に父・母・家族も参加する。 ・男性の外出を促す取り組み。 レクリエーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・市のイベントに夫婦で参加する。 ・お父さんも育児に参加する。
交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎を独創的なものに。 ・津田沼が住んでみたいまち千葉県4位。 ・アメフト。素材ある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリートミュージシャンが自由に演奏できる場。若者文化交流。 ・音楽のまちをアピール。習校の吹奏楽。 ・B級グルメ。地域振興。 ・他県との交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツとの関係。ソーセージとビール。 ・飲食店のスタンプラリー（まちコン） ・習志野のVIP感増す。 ・館山市まちおこし (フラダンス・ビーチバレー・花火)
平和啓発事業の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を広島に引率・体験。 ・子どもに世界観がない。 ・世界平和の標語を募集。 ・子どもが戦争など知る機会を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みを感じない。気付く場を。 ・歴史の積み重ねを教える。 ・性根を入れて平和を教える。 	
その他			

■その他（男女共同参画等） B班

項目	課題	市が取り組むこと	市民が取り組むこと
男女共同参画社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働・男性が参加しない ・働きたい女性の子育て支援。近場の保育所 ・男性が保護者欄に女性の名前書かない ・世帯主（男性）の名前で会合等に登録。実際は女性が出席 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での交流の活性化 ・子ども園等になり、遠くなることを避ける ・子育てを行政の参加で責任 ・行政等の書式に実際にサインする人の欄。連絡網等も 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居者・近隣住民と普段からのお付き合い ・男女とも意識改革 ・積極的に要求していく
交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の行政間の連携？3・11の時は？ ・イベント等に外国人の参加がない ・市内学校同士の連携 ・イベントが一過性で交流が深まらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地行政との協定 ・外国人向けの宣伝？ ・姉妹小学校制度など ・セカンドスクール ・スポーツ交流・文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のボランティア登録。参加 ・地域での交流の場を作る ・生徒間の交流 ・主催者が楽しむだけでなく、皆が参加できるイベントに
平和啓発事業の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の平和・治安 ・警察等との距離感 ・宣伝・取組みの具体的な物が見えない 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様でなく参加型のイベント ・市と連携した見守り街づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報収集 ・輪の拡大